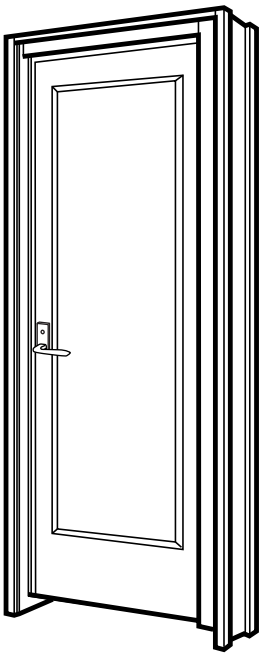
アメニティデザイン企業

DAIKEN

施工後、必ずお施主様にお渡しください。

施工説明書
取扱説明書

ダイケンリビングドアRⅢシリーズ
ローリング式片開きドア



この冊子には、施工上重要な項目が記載されています。
施工の際にはよく読み、手順通りに正しく施工してください。
又、使用後は必ずお施主様にお渡しください。

大建工業株式会社

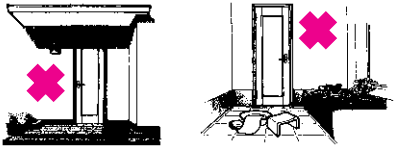
R3-KR-100108

必ずお守りいただきたいこと

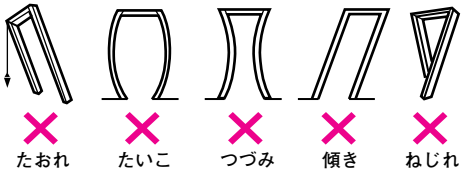
⚠ 施工上注意

ダイケンリビングドアを長期間安全に使えるように施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

●この引戸は一般住宅用の室内用ドアです。
他の用途へのご使用はおやめください。

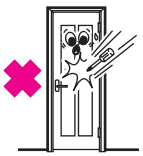


●枠の水平・垂直を確認してから取り付けてください。
――扉が締まりにくくなったり、枠との間にスキマができる原因となります。

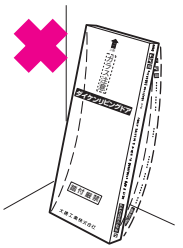


●沓摺、敷居をコンクリートやモルタルに直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、沓摺、敷居と床面の間に必ず防水処理をしてください。

●扉・枠及び金具、ガラスに工具などをぶつけたり、運搬時にひきずらないようにご注意ください。
――傷をつけるおそれがあります。



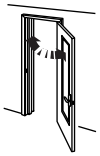
●工事が完成するまでの間、扉はたてかけて保管しないでください。
扉は梱包ケースに再度入れ、平積み保管してください。



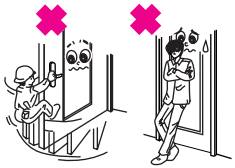
⚠ 使用上注意

本製品を安全に、また末永くご愛用していただくためにご使用前に必ずよく読み、正しい使用法・使用上の注意事項をよく理解してください。この取扱説明書は、いつでも利用できるように、大切に保管してください。

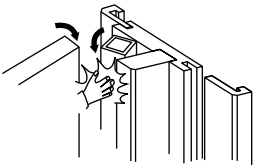
●扉の開閉は、静かに行ってください。
乱暴に取り扱うと扉が破損したり脱落する恐れがあります。



●扉にぶつかったり、扉にもたれたりしないでください。
扉が破損したり、脱落する恐れがあります。

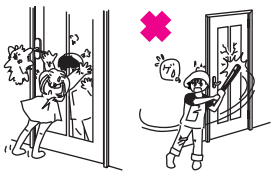


●アーム支柱や扉に指をはさまないよう、把手を持って正しく操作してください。
特に小さなお子様には十分ご注意ください。



●ストーブ等の熱源を近づけないでください。
扉が反ったり、表面がゆがんだりすることがあります。

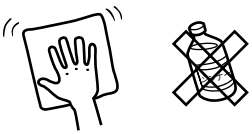
●ガラスに強い衝撃を与えたり、物をぶつけたりしないでください。
ガラスが割れるおそれがあります。特に小さなお子様には十分ご注意ください。



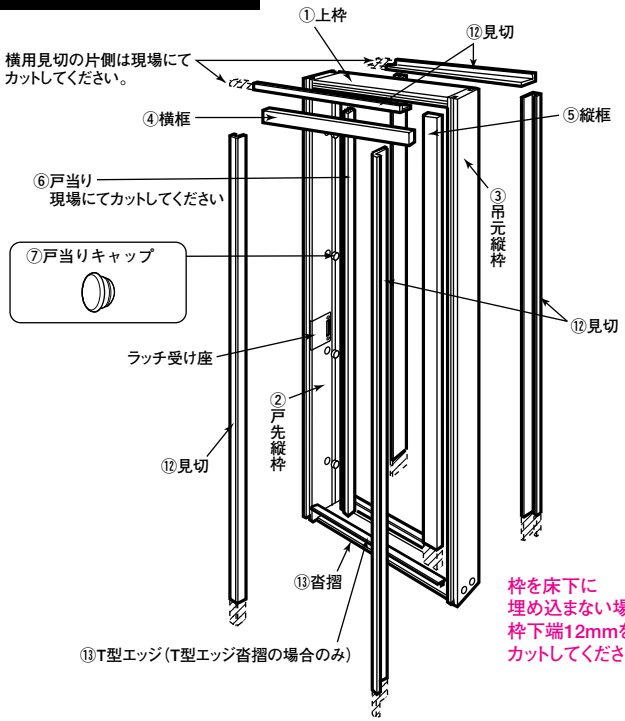
●証明灯、ストーブ等を近づけすぎないでください。
――熱によるシート変色、ふくれ等の原因となります。

お 手 入 れ の 方 法

●扉や枠の清掃は、乾拭き又は中性洗剤を薄めて、硬く絞って拭いてください。
シンナー・ベンジン等を使用すると、表面の艶が変わったり、変色する場合がありますので、避けてください。

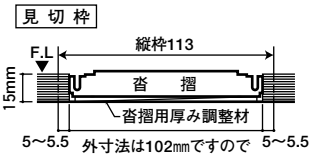


枠部材全体図



枠を床下に
埋め込まない場合は
枠下端12mmを
カットしてください。

フロアーを先に貼り、T型エッジ沓摺（オプション）を使われる場合は下図を参照してください。



外寸法は102㎜ですので103～104㎜を目安にあけてください。

⚠ クッションフロア（CF）などのクッション性のあるフロアを使用される場合はT型エッジ沓摺を使用しないでください。

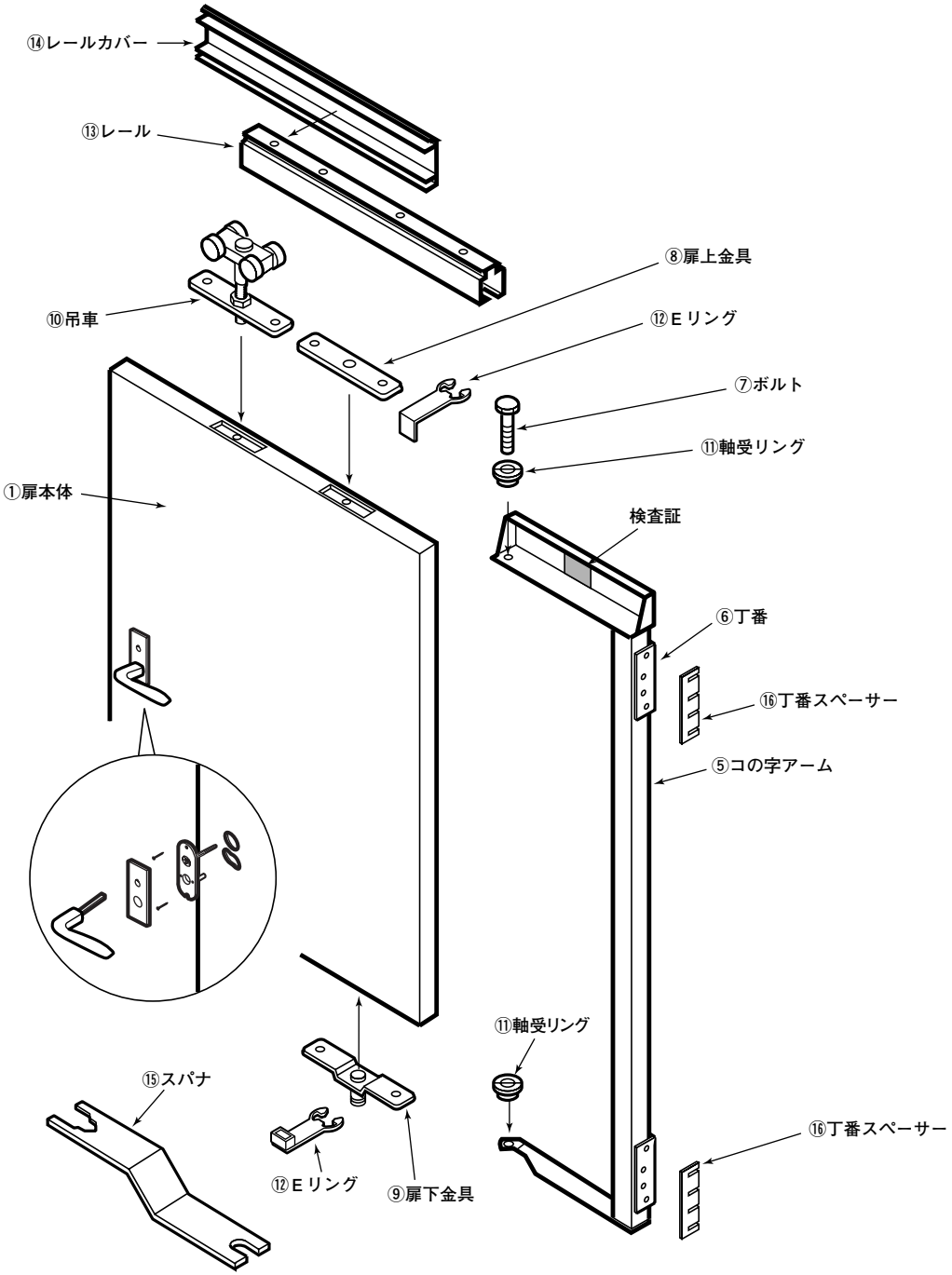
枠部材・部品表

施工前に必ず確認ください。

		部品名称	数 量	備 考
枠セット	①	上枠	1	
	②	戸先縦枠	1	ラッチ受け座取付済み
	③	吊元縦枠	1	
	④	横框	1	
	⑤	縦框	1	モヘア取付済み
	⑥	戸当り	1	
	⑦	戸当り キャップ	2袋 (4ヶ入)	戸先縦枠・吊元縦枠用

		部品名称		数 量	備 考
枠セット	⑧	框穴隠し キャップ セット	穴隠し キャップ	5個	クッション付き3個 クッションなし2個
			ビ ス	5本	
			座 金	5個	
	⑨	厚み調整材		2	3.0mm厚×14×110 縦枠下に取付済
	⑩	金具 セット	組立ビス	4	φ4.2×50
			枠調整ビス	10	φ5.3×55
			専用接着剤	1	
	⑪	施工説明書 取扱説明書		1	必ずお施主様にお渡しください。
見切セット	⑫	見切	縦 用	4	＊壁厚に合わせてサイズをお選びください。
			横 用	2	
沓摺セット	⑬	T型 エッジ 沓摺	本 体	1	
			T型エッジ	2	
			接 着 剤	1	＊T型エッジ取付用

扉・金具全体図


⑭レールカバー
⑬レール
⑩吊車
⑧扉上金具
⑫Eリング
⑦ボルト
⑪軸受リング
①扉本体
検査証
⑥丁番
⑯丁番スペーサー
⑤コの字アーム
⑪軸受リング
⑯丁番スペーサー
⑮スパナ
⑫Eリング
⑨扉下金具

扉・金具部品表

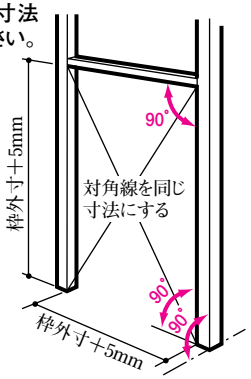
		部品名称		数　量	備　　考
扉	①	扉本体		1	
	②	錠		1	扉本体に取付済
把手セット	③	把手座		1	
	④	レバーハンドル		1	
機能金具セット	⑤	コの字アーム		1	
	⑥	丁番	本　　体	2	
			取付ビス	8	皿φ4.1×20（塗装品）
	⑦	ボルト		1	
	⑧	扉上金具		1	取付ビス：ナベφ4.8×25　6本
	⑨	扉下金具		1	
	⑩	吊車		1	
	⑪	軸受リング		2	
	⑫	Eリング		2	上用：1個　下用：1個
	⑬	レール	本　　体	1	
			取付ネジ	4	ナベφ4.8×25
	⑭	レールカバー		1	
	⑮	スパナ		1	扉の高さ調整用の専用工具
	⑯	丁番スペーサー		4	

必要梱包　扉セット＋枠セット＋把手セット＋機能金具セット＋見切セット

※沓摺を使われる場合は、別途沓摺セットが必要です。

準 備

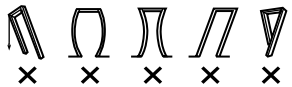
◆開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。



⚠ 注意

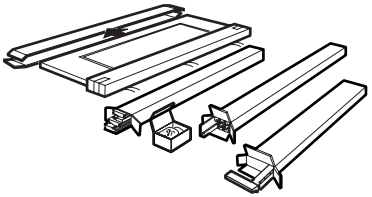
柱の垂直・床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器でよく確認してください。

※柱、床、まぐさの水平、垂直がでていないと下図の原因となります。



× たおれ　× たいこ　× つづみ　× 傾き　× ねじれ

梱包を開けて部品を確認してください。

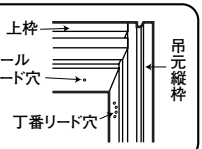


施工の前に

枠を組み立ててください。

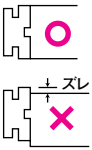
⚠ 注意

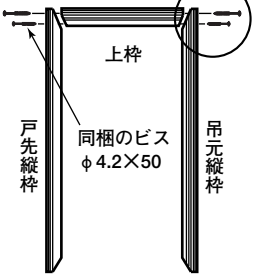
上枠は右図の向きに取付けてください。



見切枠の場合

縦枠と上枠にずれがないことを確認してください。



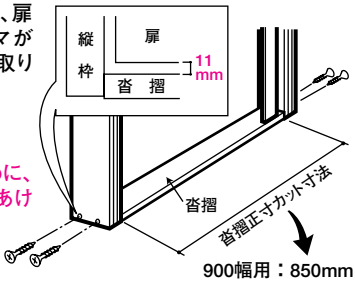


組立ビスφ4.2×50

同梱のビスを使用してください。

⚠ 框とりつけ溝には4mmのズレが発生します。

沓摺をつける場合は、扉本体下部とのスキマが11mmになるように取りつけてください。



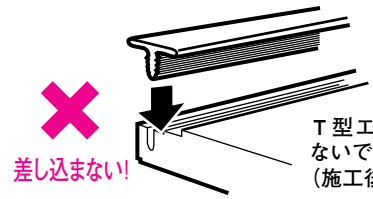
⚠ 注意

沓摺の割れを防ぐために、あらかじめリード穴をあけてください。

⚠ 沓摺のカットは正確に行なって下さい。開口が広すぎたり、狭すぎると扉の開閉ができなくなります。

900幅用：850mm
780幅用：730mm
755幅用：705mm
735幅用：685mm

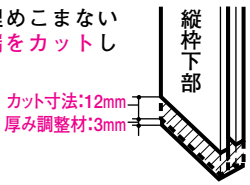
⚠ クッションフロア（CF）などのクッション性のあるフロアを使用される場合はT型エッジ沓摺を使用しないでください。



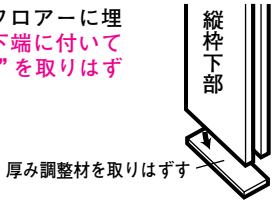
差し込まない!

T型エッジを差し込まないでください。
（施工後に差し込みます）

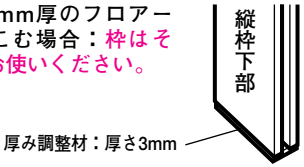
■枠を床下に埋めこまない場合：枠下端をカットしてください。



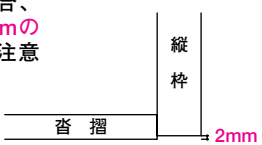
■枠を12mm厚のフロアーに埋めこむ場合：枠下端に付いている“厚み調整材”を取りはずしてください。



■枠を15mm厚のフロアーに埋めこむ場合：枠はそのままお使いください。



■沓摺を使用する場合、縦枠と沓摺に2.0mmの段差があるのでご注意ください。



施工手順

1 開口部への枠の取付け

①枠を開口部にはめこんで縦枠側の上部を枠調整ビスで仮固定してください。

↓

②下げ振りを使って垂直をだしてから、縦枠の下部を枠調整ビスで仮固定してください。

↓

③水準器で上枠の水平を見ながら縦枠の上部を枠調整ビスで仮固定してください。

↓

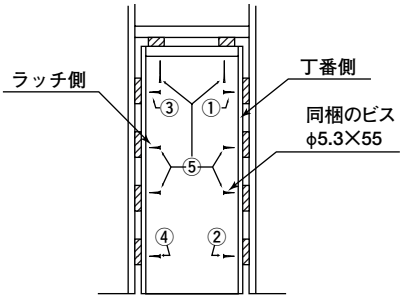
④下げ振りを使って垂直をだしてから、縦枠の下部を仮固定してください。

↓

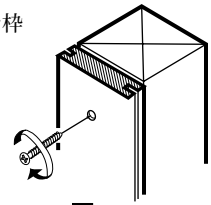
⑤枠の左右調整は右記の様に行ってください。

↓

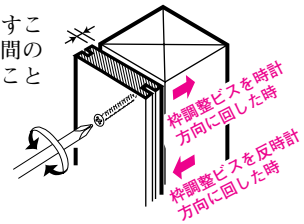
⑥枠の前後、左右のたわみがない様に調整後カイモノをして、残りの枠調整ビスで本固定してください。



(1)まず枠調整ビスで枠を固定します。



(2)枠調整ビスを回すことで、柱と枠の間の隙間を調整することが出来ます。



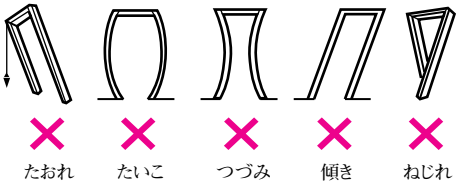
⚠ 注意

丁番は施工後の調整が出来ないため枠の調整はしっかり行ってください。

⚠ 注意

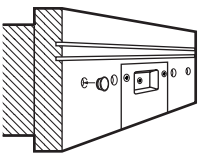
右記のようなことがあった場合扉が閉まらない場合があります。

⚠ 注意 枠調整ビスでの調整には必ず手動ドライバーをご使用ください。

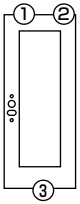


2 戸当りキャップのはめこみ

戸当りキャップを縦枠にはめ込んでください。
（吊元側、戸先側）



3 扉金具の取付け



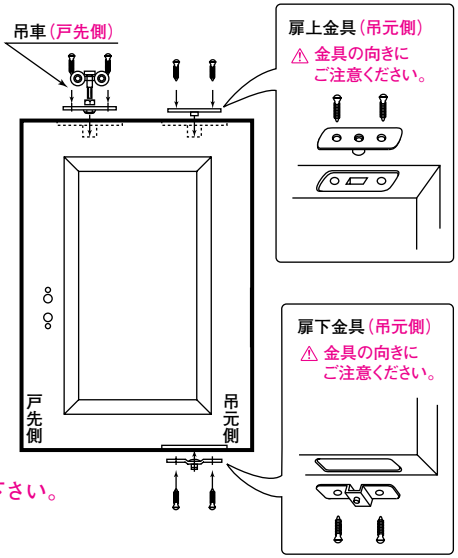
「吊車」・「扉上金具」の取付け

【手順 ①】
吊車を戸先側切り欠き穴に取り付けて下さい。
（取付ビス：ナベφ4.8×25　2本）

【手順 ②】
扉上金具を吊元側切り欠き穴に取り付けて下さい。
（取付ビス：ナベφ4.8×25　2本）

「扉下金具」の取付け

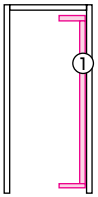
【手順 ③】
扉下金具を吊元側切り欠き穴に取り付けて下さい。
（取付ビス：ナベφ4.8×2.5　2本）



⚠ 金具の取付位置は右図にならって取り付けて下さい。

⚠ 金具の上下方向に注意して取付下さい。

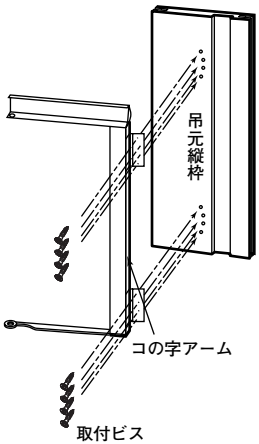
4 コの字アームの取付け



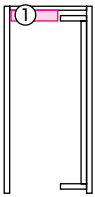
「コの字アーム」取付け

【手順 ①】
吊元縦枠リード穴に丁番を合わせコの字アームをビス止めして下さい。
（取付ビス：皿φ4.1×20　各丁番4本）

⚠ 皿ビスの皿頭が飛び出さないよう締めつけて下さい。
→飛び出すと扉が閉まりません。



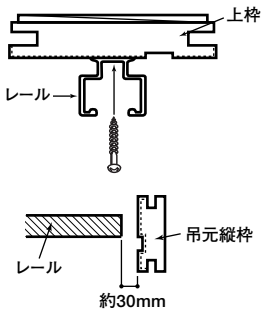
5 レールの取付け



上枠「レール」取付け

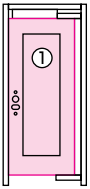
【手順 ①】
上枠のリード穴にレール穴を合わせ、レールを取り付けて下さい。
（取付ビス：φ4.8×25　4本）

⚠ 吊元縦枠とレールの距離は約30mm離して下さい。



6 扉の吊込み

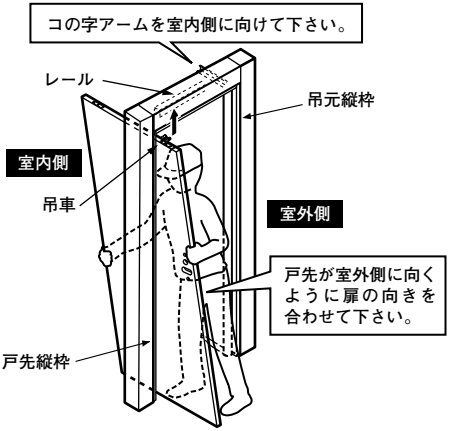
「扉」の吊込み



【手順 ①】
扉を斜めに傾け、戸先縦枠側より吊車をレールに差し込んで下さい。

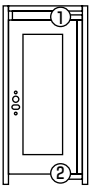
⚠ コの字アームは室内側に向けて下さい。

⚠ 戸先が室外側に向くよう扉の向きを合わせて下さい。



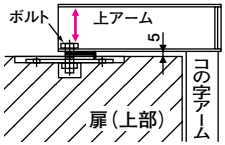
7 扉の留め付け

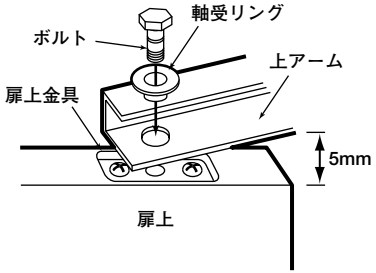
「扉上金具」の留め付け



【手順 ①】
1）上アーム先端の穴に軸受リングをしっかりとはめ込みます。
2）扉と上アームをボルトで締め付けます。
（同梱スパナ13mm側を使用します）

⚠ 扉と上アームの隙間が5mm程度になるまで締め付けてください。

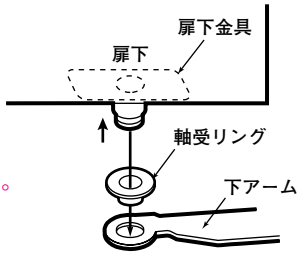




「扉下金具」の留め付け

【手順 ②】
3）下アーム先端の穴に軸受けリングをしっかりとはめ込みます。
4）扉下金具の軸を、3）で取り付けた軸受けリングの穴に合わせてはめ込みます。
※下アームを軽く押し軸をはめ込んで下さい。

⚠ 留め付けの際、下アームに無理な力を加えないで下さい。
下アームが変形し、正常に作動しなくなる場合があります。



動作確認

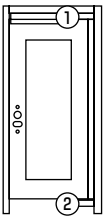
【手順 ③】
5）扉を開閉し、開閉動作の確認をして下さい。
※こすれ音や異常な動作がある場合、
9 扉の調整 の項にて調整して下さい。

8 Eリングの取付け

⚠ Eリングは必ず取付けて下さい。取付けを忘れると、扉が外れてケガをするおそれがあります。

⚠ Eリングには『扉上金具用』と『扉下金具用』が有ります。

上アームへの取付け

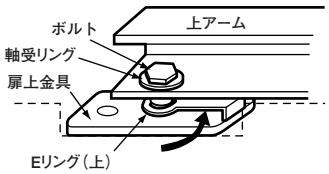


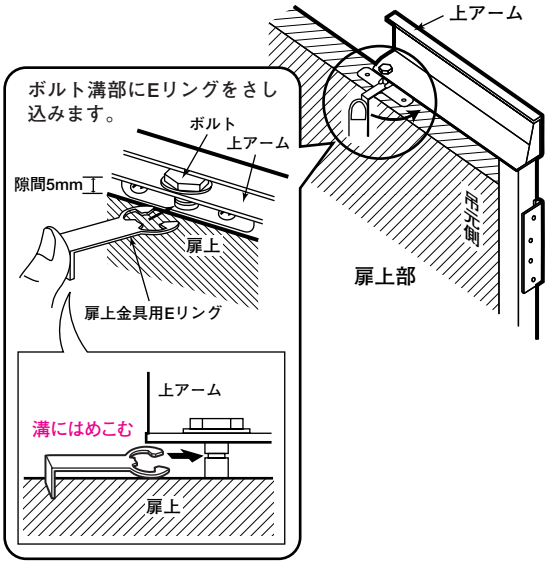
【手順 ①】

1）上アーム下のボルト軸の溝部分にEリングを挿入します。

⚠「カチッ」とはまり込むまで押し込みます。

2）Eリングを吊元側方向に回転させ、扉金具の上に押し込んで下さい。





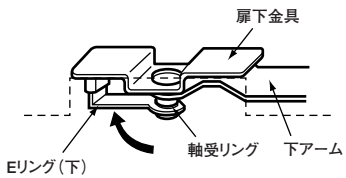
下アームへの取付け

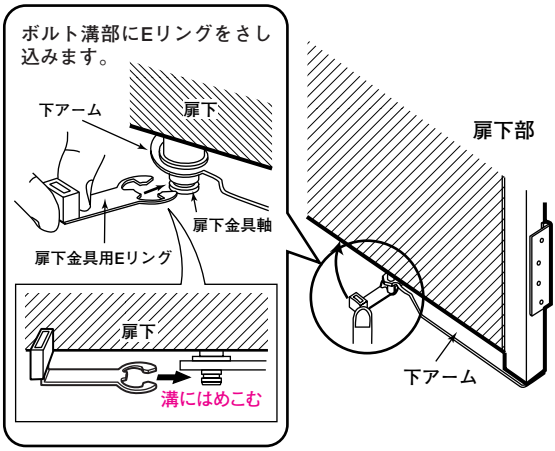
【手順 ②】

1）扉下金具軸先端の溝部分にEリングを挿入します。

⚠「カチッ」とはまり込むまで押し込みます。

2）Eリングを戸先側方向に回転させ、扉下金具の下に押し込んで下さい。

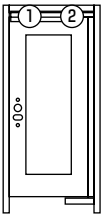




9 扉の調整

扉の上下調整方法

上アームと扉の隙間を5mmに調整します。



手順 ① 戸先側の上下調整

1）ロックナットを反時計回りにゆるめます。（同梱スパナ13mm側を使用）
2）吊車軸の四角の部分を同梱スパナ（6mm側）で回し高さ調整します。
・扉を上げる場合、吊車軸を時計回りに回します。
・扉を下げる場合、吊車軸を反時計回りに回します。
3）ロックナットを締め付けます。

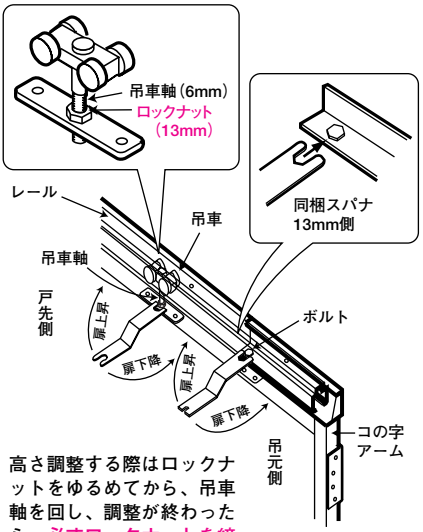
⚠ ロックナットの締め付けが不足すると、扉が下がる場合があります。

手順 ② 吊元側の上下調整

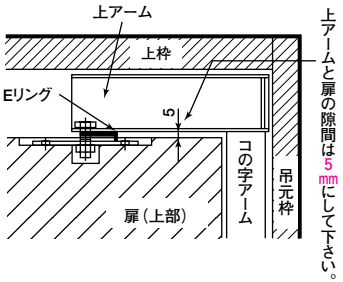
1）扉とコの字アームを連結しているボルトを回して高さ調整します。
（同梱スパナ13mm側を使用）
・扉を上げる場合、ボルトを時計回りに回します。
・扉を下げる場合、ボルトを反時計回りに回します。

調整後
吊車及び、ボルトに浮きが無く、扉がレールに平行に吊り込まれていることを確認して下さい。

⚠ 注意　吊車の扉吊り高さ調整（ロックナットの固定）

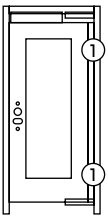


高さ調整する際はロックナットをゆるめてから、吊車軸を回し、調整が終わったら、必ずロックナットを締めて固定してください。



扉の左右調整方法

⚠ 戸先縦枠と扉の隙間が「5mm以上」ある場合は調整して下さい。
扉の左右調整は『丁番スペーサー』を使用します。
（丁番スペーサーは1枚1mmです。）



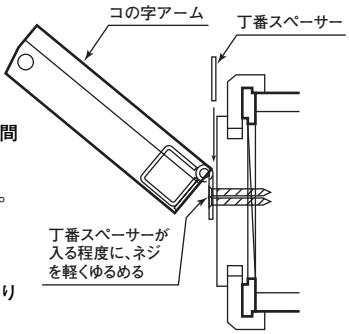
1）コの字アームから扉を外します。
・上下Eリングをはずします。
・扉上金具のボルトを緩めてはずします。
・下アームから扉下金具軸をはずします。

2）コの字アーム取付ビス4本を緩め、丁番と縦枠に隙間を開けます。

3）丁番と縦枠の隙間に丁番スペーサーを挿入して下さい。

4）丁番取付ビスを緩め、扉を吊り込み直して下さい。

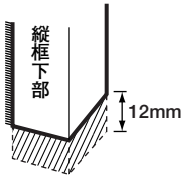
5）扉を開閉して、建付を確認し、Eリングを取り付けます。
・再調整が必要な場合は、左右調整の手順を再び繰り返して下さい。



10 縦框･横框の取付け

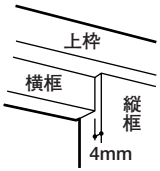
【手順 ①】

1）縦框を現場の納まりに合わせて下端をカットしてください。
※枠を床下に埋めこまない場合：12mmカットして下さい。



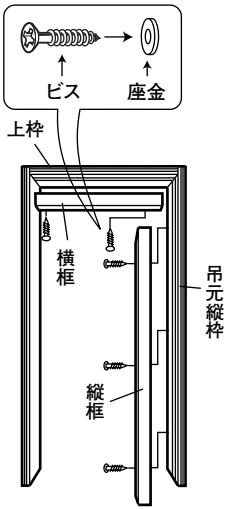
2）縦框を吊元縦枠に、同梱の専用接着剤で取付けて下さい。
横框を上枠に、同梱の専用接着剤で取付けて下さい。

⚠ 注意
框は縦かちに取付けて下さい

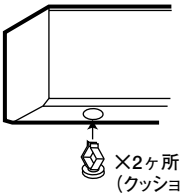


⚠ 取り付け後、縦框と横框には4mmの段差が発生します。

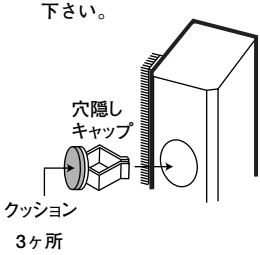
3）縦框と横框、共に座金をはめて、ビス止めして下さい。



4）横框に穴隠しキャップをはめて下さい。

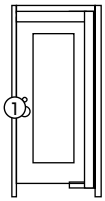


5）縦框に「クッション付穴隠しキャップ」をはめて下さい。

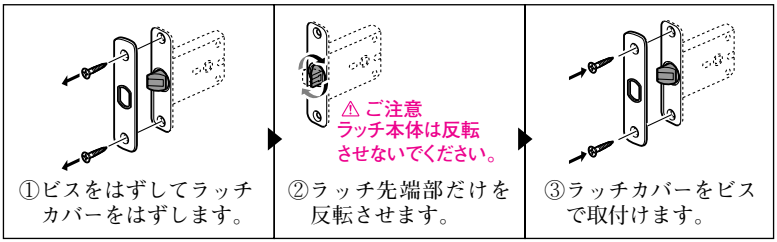


11 把手の取付け

【手順 ①】1）把手とレバーハンドルを取付けて下さい。
取付方法は把手セットに同梱の取付説明書をご覧下さい
左吊元扉の場合は下の通り、ラッチ先端の向きを反転させて下さい。
（※ 扉は出荷時は右吊元になっています。）



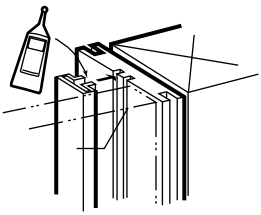
⚠ラッチカバーには上下があります。



12 戸当りの接着

戸当りを枠のサイズに合わせてカットしドア枠に接着してください。
（必ず接着剤を使用してください。）

戸当り専用接着剤
（同梱品）

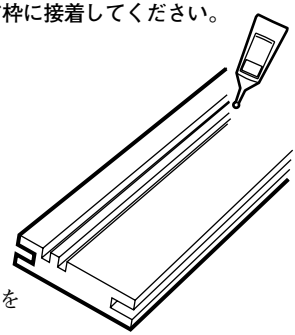


※クッションをドア側に向けて取り付けてください。

⚠ 注意

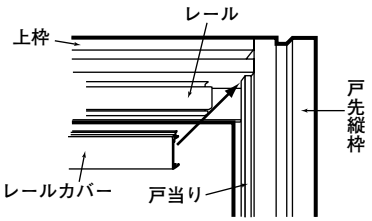
接着剤がまんべんなくゆきわたるように塗布してください。接着剤の量が少ないと扉の開閉時に戸当りがはずれるおそれがあります。

※枠溝に縦２本接着剤を塗布してください。



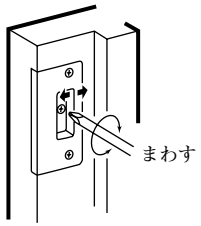
13 レールカバーの取付け

・レールにレールカバーを戸先側戸当り面に隙間がないように合せてはめ込んで下さい。

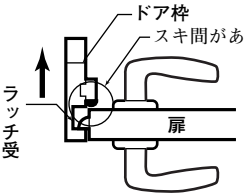


14 ラッチ受座の調整

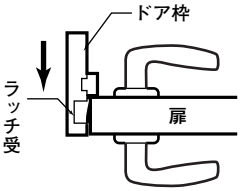
扉がガタついたり、ラッチがかかりにくい場合はプラスドライバーで調整ラッチ受座を調整してください。（調整可能範囲5mm）



ドアがガタつく場合



ラッチがかからない場合

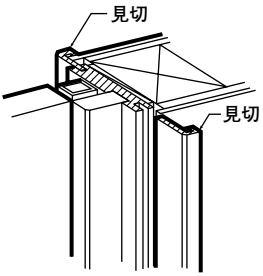


15 見切の取付け

壁の施工が終了してから、見切を取り付けてください。

⚠ 見切に接着剤（木工ボンド：現場手配）を塗布してください。

※見切は現場にて現物合せしてカットしてください。



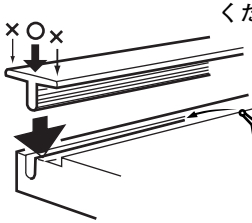
シンプルタイプ

縦かちの納めになっています。

16 T型エッジの取付け

T型エッジ沓摺の場合

T型エッジをツバ受けに差し込んでください。



※接着剤をツバ受け溝に点付けしてください。

T型エッジは長めで同梱されていますので枠内寸法にカットして使用してください。

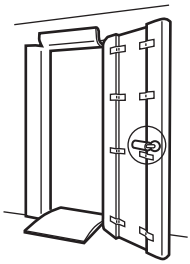
※T型エッジのまん中を押してはめこんでください。

※T型エッジを差し込む場合は床面との隙間が出ない様に施工してください。
隙間がある場合、T型エッジが割れる場合があります。

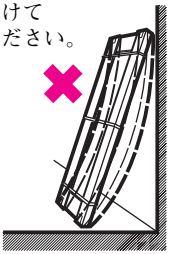
17 養　生

工事が完成するまで扉・枠をダンボールなどで養生してください。その際、養生テープを沓擦に直貼り使用すると、塗装が剥がれる事がありますので、直接貼らないようにしてください。

金具は布・ミラーマットなどで養生してください。

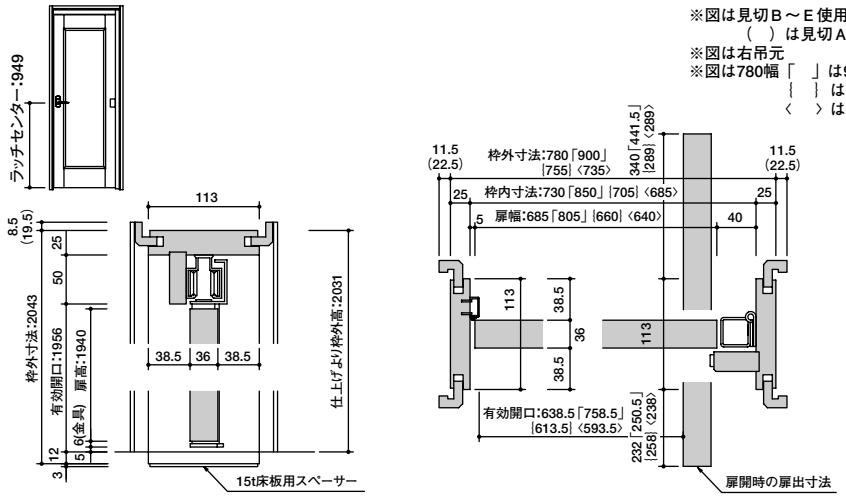


※扉を壁にたてかけて保管しないでください。

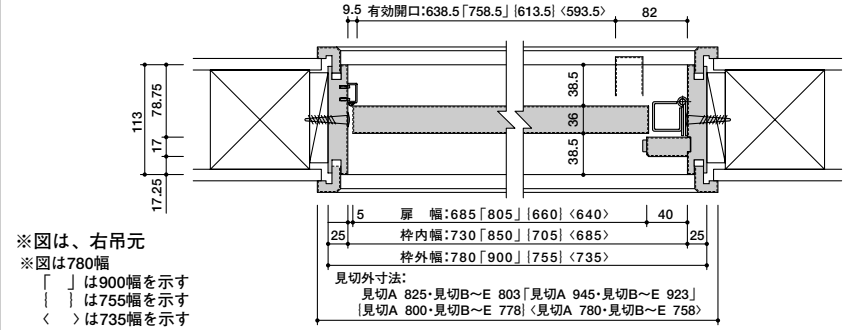


施工例

ローリング式片開きドア寸法図



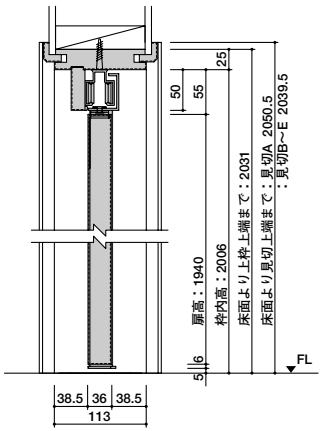
横断面



※図は、右吊元
※図は780幅
「 」は900幅を示す
| | は755幅を示す
〈 〉は735幅を示す

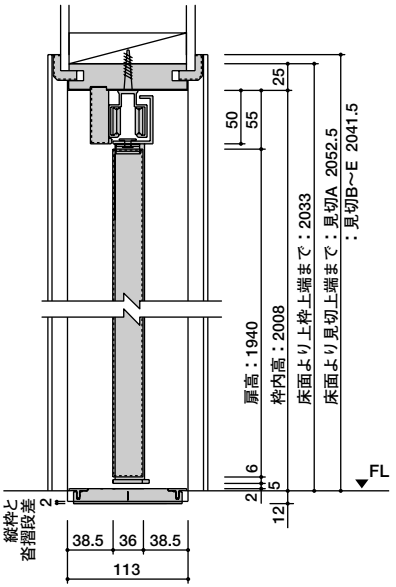
縦断面

①沓摺を使用しない場合

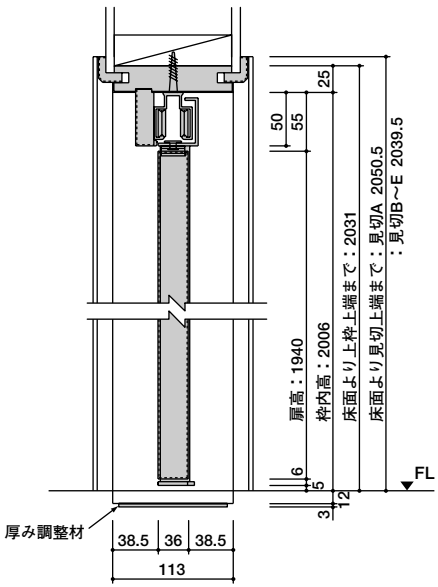


縦断面

②T型エッジ沓摺（オプション）を使用した場合



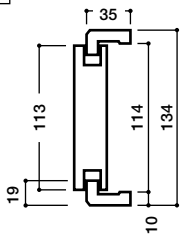
③フロア埋込み使用した場合



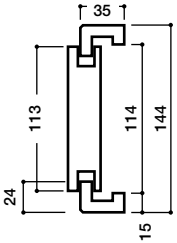
壁厚対応

見切A（シンプル）壁厚114mm

横　用

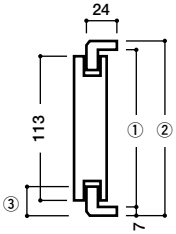


縦　用

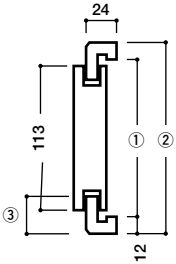


見切B～E（シンプル）壁厚114mm～185mm

横　用



縦　用

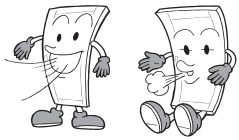


見切		B	C	D	E
①壁厚		114～131	131～149	149～167	167～185
②枠外寸	横用	128～145	145～163	163～181	181～199
	縦用	138～155	155～173	173～191	191～209
③見切サイズ	横用	22	31	40	49
	縦用	27	36	45	54

木質材料の性質について

木質ドアの「反り」について

木材を原料とする木質材料（合板、パーティクルボード、MDFなど）を加工して作られた内装ドアは、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は内装ドア周辺の温度、湿度等の環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に、内装ドアの室内面側と室外面側の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。



「反り」の発生を出来るだけ抑える方法について

ご使用の環境や設置場所によって「反り」が発生する場合があります。「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。

①エアコン、暖房器具等をお使いになる場合は、内装ドアに直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。

②夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房等により、室内と室外の環境条件の差を極端に大きくしないでください。

③内装ドアに直接日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、すだれ等を設けて日光を遮ってください。

発生した「反り」は室内側と室外側の環境条件を近づける事によって、小さくなる事があります。

商品の保証について

商品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象商品

リビングドア

■保証期間

引渡し後2年とさせていただきます。弊社商品の引渡完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間を経過した製品においても、修理可能なものは、有償にて修理を承ります。

■保証期間内でも以下の場合は有料となります。

①建物の設計・施工に起因する場合
②自然現象・周辺環境等の不可抗力に起因する場合
③建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する場合
④入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する場合
⑤経時変化による通常一般的な当該保証対象製品の色褪色、汚れ、劣化、磨耗など
⑥製造時に実用化されていた技術では予測する事が不可能な事象に起因する場合
⑦その他当該不具合品の発生が弊社の責に よらない場合

ご相談窓口について ●製品に関するお取り扱い、補修、工事などのご相談は、工務店へ。●DAIKENへ直接ご相談される場合は、下記窓口へお願いします。

製品に関するお問い合わせご相談

DAIKENお客様相談室

0120-787-505

（フリーダイヤル）

● 携帯・PHSからは TEL 06-6452-6000へお電話ください。

● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理に関するお問い合わせご相談

ダイケンサービス株式会社

06-6452-6032

● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ
部品のネット販売サイトです。

http://www.daiken.jp/service/

DAIKENホームページ ▶ お客さまサポート ▶ ▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ

ご相談窓口における個人情報のお取扱い

大建工業株式会社及び大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（大建工業株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。）尚、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただく時のためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

北海道営業部
札幌営業所 ☎011-207-5330
函館事務所 ☎0138-47-7191
札幌特販営業所 ☎011-207-5330
旭川営業所 ☎0166-24-1377
帯広事務所 ☎0155-25-8421
東北営業部
盛岡営業所 ☎019-636-1161
秋田事務所 ☎018-862-4441
仙台営業所 ☎022-243-6621
山形事務所 ☎023-632-2711
東北特販営業所 ☎022-243-6621
青森営業所 ☎017-729-2201
郡山営業所 ☎024-946-7211
信越営業部
新潟営業所 ☎025-285-5887
信越特販営業所（新潟） ☎025-285-5887
長野営業所 ☎026-222-6311
信越特販営業所（長野） ☎026-222-6311
長岡営業所 ☎0258-33-5734
松本事務所 ☎0263-40-0370

北関東営業部
宇都宮営業所 ☎028-621-6431
宇都宮特販営業所 ☎028-621-6431
埼玉営業所 ☎048-669-0660
熊谷事務所 ☎048-527-5601
群馬営業所 ☎027-364-9811
首都圏営業部
東京営業所 ☎03-6271-7731
山梨事務所 ☎055-275-7931
横浜営業所 ☎045-222-4781
相模原事務所 ☎042-770-9130
平塚事務所 ☎0463-20-4771
多摩営業所 ☎042-571-3434
水戸営業所 ☎029-248-8511
つくば事務所 ☎029-849-2344
千葉営業所 ☎043-287-8491
我孫子事務所 ☎04-7183-4070
静岡営業所 ☎054-288-3881
首都圏住宅営業部 ☎03-6271-7721
首都圏集合住宅営業部 ☎03-6271-7751
首都圏リモデル営業部 ☎03-6271-7761

中京営業部
名古屋営業所 ☎052-205-5811
三河事務所 ☎0564-65-8681
岐阜事務所 ☎058-246-6752
名古屋特販営業所 ☎052-205-5811
浜松営業所 ☎053-458-5751
三重営業所 ☎059-226-7073
北陸営業部
金沢営業所 ☎076-262-3211
富山事務所 ☎076-429-7250
福井事務所 ☎0776-26-8508
北陸特販営業所 ☎076-262-3211
近畿営業部
大阪営業所 ☎06-6915-7041
和歌山事務所 ☎073-473-8090
大阪特販営業所 ☎06-6915-7041
兵庫営業所 ☎078-321-1822
京都営業所 ☎075-341-8151
沖縄営業所 ☎098-879-4916
中国営業部
広島営業所 ☎082-505-2525
山口事務所 ☎083-974-0303
広島特販営業所 ☎082-505-2525
岡山営業所 ☎086-262-2271
岡山特販営業所 ☎086-262-2271
四国営業部
高松営業所 ☎087-866-8500
高知事務所 ☎088-885-6202
高松特販営業所 ☎087-866-8500
松山営業所 ☎089-945-8569
徳島営業所 ☎088-622-6261
九州営業部
福岡営業所 ☎092-413-2345
北九州事務所 ☎093-522-1224
長崎事務所 ☎0957-35-0161
大分事務所 ☎097-533-8701
福岡特販営業所 ☎092-413-2345
熊本営業所 ☎096-372-5211
南九州特販営業所 ☎096-372-5211
鹿児島営業所 ☎099-254-8300
宮崎事務所 ☎0985-26-5908
西部住宅営業部 ☎06-6452-6232

大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス http://www.daiken.jp/

2009.08 現在